

島根県作業療法士会 令和4年度 第7回理事会 議事録

日時：令和5年4月15日（土） 13:30～16:50

場所：Web会議（Zoom使用）

出席者：小林央、森脇、篠崎、陶山、稲垣、石川、石田、岩根、岩本、川上、岸、佐藤佑、田中、錦織、
福代、古田、堀江、吉岡、角

以上 19名

委任状：佐藤千、西村、原田、山根、山本、

以上 5名

1.会長挨拶

2.報告事項

●事務局 財務部

：Peatix について 研修会開催等での利用方法の説明。県士会でアカウント作成し理事・委員長・副委員長・チームリーダーでアドレスとパスワード共有し利用していく。

●推進局 広報部：ホームページアクセス数について 3月分報告

●第17回島根県作業療法学会

：11月26日（日）三隅・益田ブロック担当。テーマ「すぐそばにある多様性」

学会長 松ヶ丘病院：秋吉 正広 OTR ハイブリッド開催予定

●推進局 事業部

：法人所有物等の管理方法・保管費について 3月31日付で契約。利用したい場合は事務局まで。

3.企画事項

4.協議事項

●事務局 庶務部

：2023年度一般社団法人島根県作業療法士会定時社員総会について →承認
6月4日開催予定。あくまで対面開催とし、後日オンライン参加の案内を行う。

●事務局 財務部

：2022年度会計監査終了した。2022年度決算・2023年度予算案の修正提示 →承認

●推進局 事業部

：40周年記念事業に伴う事業内容の変更について（位置づけ・目的） →承認

限られた予算内で開催可能な事業とする。職能団体として士会員の凝集性を高めることとして開催する。4役と事業部を中心に実行委員会を立ち上げ、内容を協議していく。具体的な大枠は総会議案書に記載予定。事業部活動内容を一部変更予定。これまでの積立金の扱い、予算名は税理士と相談。

意見：フェスタAを利用しOTの専門性について周知できるとよいのではないか。例)各分野の会員に依頼し現場で実施している内容についてのポスターなど作成するなど

●4役

→承認

：50周年記念事業について

2033年に向け計画を立て積立金を計上する。予算合計400万円。現時点では年40万円予定。40周年を足掛かりとする。10か年の中で協議、検討し経過により内容や予算を補正しながら準備。

●委員会統括

→承認

：委員会との連携強化について

委員長・副委員長の理事会出席を依頼し、各委員会との連携を取っていく。委員長のみ委員会もあるので、副委員長も選出も検討していく。

●事務局

→承認

：事務局の整備について 事務局員の雇用及び事務所の設置(有無も含め)に向け、現況を調査、検討し取り組む。現段階では金額の根拠、目標が示されていない以上、次年度は予備費として計上する。

説明：県士会活動における労務を可視化し賃金換算することより開始している。現在、業務所要時間数を調査依頼中である。(所要時間数×県の最低賃金相当額)

意見：事務局を構える意義も検討が必要では。各活動で依頼したい内容も集約しても良いか。

会員に対する対価も考える必要があるのでは。会員にも現状について総会を通じて周知はどうか。

4.その他

●会長より

：2022年度事業評価報告について 各事業にコメントあり。各事業の可視化ができた。
今後も単年度のみではなく各目標を見据えて、途中経過を確認・修正しながら進めていく。

●事務局長より

：県士会費未納者に対する声掛けについて

●事務局長より

：2023年度理事会予定案内について

5.会長より

：2022年度のまとめ

6.監事より

吉岡監事より

：県士会を盛り上げてもらっていることに感謝する。作業療法は楽しいもの。何でもできる、柔軟に考えられるのが良いところ。より発展できるように取り組めたら良い。

川上監事より

：今後も士会が発展できるように役員のみでなく、会員と共に皆で取り組めたら。

7.副会長より

森脇副会長より

：今後も一つずつ取り組み、進めていければ良い。

篠崎副会長より

：直近、または中長期的に取り組むことについて、それぞれ進めていければ良い。

=====
次回 令和5年度(2023)第1回理事会

日時：令和5年6月4日(土)

場所：出雲市民会館

内容：各種協議事項
=====